

選定理由書

種目	中学校		国語
発行者番号	2	発行者略称	東京書籍
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 説明的な文章に関する内容が、適切かつ充実している。 文学的な文章に関する内容が、適切かつ充実している。 古典に関する内容が、適切かつ充実している。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 教材の前や後に配置された「学びの扉」と巻末資料の「学びを支える言葉の力」がうまく連携しており、主体的に学習を広げていく際に非常に役立つ。デジタル資料としては、「古典の範読」「古典作品の解説映像」など、たいへん充実しており、興味を持ちつつ、主体的に学べるよう工夫がなされている。文法、漢字、情報の整理、古典、読書、話す・聞く、書く、読む等の学びや、言葉がもつ価値を認識して考えを伝え合おうとする態度を養う点で、すべてを偏りなく身につけることができる内容になっている。 学びによって得た「言葉の力」を、次の教材で活用して学びを深め、さらに確かな力となるよう教材が構成されている。学習者にとっては、系統的な積み上げを非常に意識しやすい、教科リンクマークを付してあり、他教科との関連も意識しやすい。 東日本大震災を題材にした教材が、3年生の最後の単元で扱われており、中学校で身につけた言葉の力をすべて活用して、より深く学ぶことができる。</p> <p>【観点2】 「学びの扉」のイラストを導入として、学習課題を明確に意識させたいうで、話す・聞く、書く、読むなどの言語活動に取り組めるよう工夫されている。全体の調和がとれている。 戦争・震災・国際協力・環境・伝統・言葉・自然など、さまざまなジャンルの題材が扱われており、論理の展開等をしっかりと学ぶことができる教材が選定されている。現代的課題について、興味を持って学ぶことのできる内容になっている。 新しい作品と近代文学がそれぞれバランスよく取り上げられており、長く読み継がれてきた良い作品が多い。 どの古典教材においても、時代背景や作品についての解説が最初に配置され、取り組みやすい。また、写真などの資料も充実しており、学びの広がり期待できる内容となっている。(デジタル教材について、前出)</p> <p>【観点3】 同じページの中での、本文とそれ以外の様々な情報について、文字の大きさや字体に適切な変化をつけることで、読みやすさに配慮している。 巻末の資料が、本編の内容としっかりリンクしており、活用しやすく、理解しやすい内容になっている。 見やすさを保ちつつ、各ページに様々な情報を付け加える工夫がなされたレイアウトである。各教材だけでなく、各章ごとの目標も明確に示されており、章ごとの学びのまとまりをとらえやすい。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	中学校		書写
発行者番号	38	発行者略称	光村図書
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1)概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2)教科内容 毛筆使用教材において、ねらい、学習の進め方、振り返り、発展教材等、指導の流れが明確で適切である。 硬筆使用教材において、ねらい、学習の進め方、振り返り、発展教材等、指導の流れが明確で適切である。 デジタルコンテンツも含め、日常の書写に役立つ資料が豊富に収録されている。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1)内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2)外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 各教材について、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」と、学習の流れを明確化し、主体的な学びにつながる内容となっている。さらに、取り外しのできる「書写ブック」が付属しており、自主的な学習に役立つ。 「コラム」や「やってみよう」において、我が国の文字文化についての知識を広げたり、体験したりできることから、豊かな心や創造性を養うことにつながる。 学びの目的が明確に示されている。日常生活へのつながり、学校生活へのつながりを意識した項目が多く、実生活に役立てることができる。</p> <p>【観点2】 行書学習の最初に、楷書との筆遣いの違いを実習しながら学ぶという流れが、行書での書写を習得しやすい。 毛筆書写で学んだことを生かしながら、硬筆書写学習を進めていくという流れが、適切でわかりやすい。 デジタルコンテンツには、全教材の筆遣いの動画と筆や墨などの用具用材に関する動画が収録されている。その動画のQRコードは、各教材のページに付されており、授業中に活用しやすい。</p> <p>【観点3】 一部ではあるが、半紙の原寸大で教材が掲載されており、点画の太さや長さ、余白の取り方などがつかみやすい。名前の書き方についても、同様である。 人名用漢字の楷書体・行書体がまとめて掲載されており、常用漢字と合わせると、名前や地名も含めて、日常の書写に役立つ。 学習において重要な部分が目立つように配色が工夫されている。 「書写ブック」が付属している。(前出) B5サイズで、学習時、机上に配置しやすい。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	中学校			社会(地理的分野)
発行者番号	46	発行者略称	帝国書院	
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1)概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2)教科内容 QRコードなどの整備によって、画像や動画へのアクセスが充実している。 分野間の横断的な学習への配慮がなされている。 今日的な課題の内容を十分に学習することのできる内容となっている。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1)内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2)外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>				
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 単元を通して問いを考え、課題解決的な学習によって、主体的・対話的で深い学びをすすめることができる。 生活を豊かにするための努力を表した「声」コーナーや、「技能を磨く」から、勤労を重んじる態度や、創造性を養うことができる。 近畿地方の単元では、「姫路城とその周辺の景観を守る取り組み」や「震災の経験を語り継ぐ神戸」が紹介されており、ふるさと意識の醸成に有効で、 県教育基本計画に沿った内容となっている。</p> <p>【観点2】 学習課題の解決に向けた見方・考え方を働かせる問いかけが示されている。 全体として調和のとれた内容及び構成・配列となっている。 QRコードからのデータアクセスが便利で、内容も教科書の問題の解答や、アニメーション、NHKの動画にリンクしたりと豊富な内容を提供している。 小学校社会科・歴史的分野・公民的分野との関連コーナーが設けられており、分野間の関連が意識できるつくりになっている。 持続可能な社会・防災・環境・共生など、現代的な諸課題に関わる教材が豊富に掲載されている。</p> <p>【観点3】 UDフォントが使用されている。 カラーユニバーサルデザインへの対応がなされている。 導入から本文・振り返りでレイアウトが統一され、レイアウト違いによる生徒の混乱を防ぐ工夫がなされている。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>				

選定理由書

種目	中学校			社会(歴史的分野)
発行者番号	46	発行者略称	帝国書院	
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 QRコードがあるなど、ICTの活用に向いている。 子どもの目線で、興味を持ってそうな教材である。 本文、資料の質が高く、かつ分かりやすい教材である。 観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無				
選定理由 【観点1】 「確認しよう」「説明しよう」では、「本文から書き出してみよう」と具体的な指示で、深い学びの実現につなげやすい。 色鮮やかな資料や「歴史プラス」は知識・技能の習得に向いている。また、各節ごとにふり返りができる適切な問いがあることから、思考力等の育成にも向いている。さらに各章の初めには、動画にリンクするQRコードがあって、学びに向かう力の育成にも向いている。 「未来に向けて」では現代的な課題に視点を当て、「特別の教科 道徳」などとの、教科横断的学習に向いている。 「未来に向けて」で兵庫県の事例を取り上げている。 【観点2】 文化史では、文化を政治や経済と結びつけて多面的に考察しており、全体として調和がとれている。 動画につながるURLがあり、充実している。 生徒にとっては好意的な印象を与えるキャラクターを用いて学習を進めている。また、「タイムトラベル」は時代の様子をイメージとしてとらえやすい。 本文、資料ともに内容が良い、資料は写真資料が多い。 【観点3】 カラーユニバーサルデザインに優れている。また、資料は色鮮やかで見分けやすい。 以上から、令和4年度使用教科用図書として選定する。				

選定理由書

種目	中学校 社会(公民的分野)		
発行者番号	2	発行者略称	東京書籍
調査研究観点			
観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。			
観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 デジタルコンテンツが充実しており、授業内や家庭学習等でも活用することができる。 社会に参画する担い手を育むための課題が適切に設定されている。 現代人が直面する課題に対して議論を深められるような問いの設定がされている。			
観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由			
【観点1】 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動を効果的に実践できるようになっている。 学習課題を解決する「チェック&トライ」が設けられ、思考力・判断力・表現力を高められるような工夫がされている。 他分野と共通で掲載している資料や特設ページには「他教科関連マーク」が付され、二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで、学習を多面的に深められるようになっている。 多文化共生のまちづくりでは、神戸市中央区の取り組みが取り上げられ、県下の事例を学ぶことができる。			
【観点2】 各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーが設けられ、学習を深められるように工夫されている。 学習指導要領に示す内容の取扱いに則しており、特定の事項や事象、分野に偏ることはなく、全体として調和がとれている。 QRコードを読み取ることにより、演習問題等家庭での学習を深めることができるよう工夫されている。 政治分野の資料が充実しており、「18歳へのステップ」では、2022年4月からの成人年齢の引き下げに対応しており、選挙、消費者教育、主権者教育等の内容を主体的に学習できるよう工夫されている。 各章に探究課題が設けられ、導入とまとめの部分で学習成果を振り返ることでより学びを深いものにする工夫がされている。SDGsや伝統文化、防災・安全、人権・平和、情報技術等、現代的な諸課題に対して主体的に取り組むことができるよう工夫がされている。			
【観点3】 UDフォントを使用しており、見やすく印象的な文字となっている。 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようになっている。 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用していることが記載されている。 視覚効果の高い幅広の判型(AB判)を採用し、頁数は213ページで5単位時間分の予備時間があり、柔軟な指導計画の作成が可能となっている。			
以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校		地図
発行者番号	46	発行者略称	帝国書院
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 QRコードなどの整備によって、画像や動画へのアクセスが充実している。 分野間の横断的な学習への配慮がなされている。 今日的な課題の内容を十分に学習することのできる内容となっている。 観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 随所に「地図活用」の問いがあり、地図の読み取りだけでなく、社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用でき、QRコードによる主体的な取り組みが期待できる。 世界は州ごとに、日本は地域ごとに構成され、資料は地域の特色が適切に理解できる題材が選定されている。また、学習上重要な国名・首都名には欧文が併記され、外国語科への対応がなされている。 近畿地方の防災への取り組み例では、神戸市付近の様子が描かれ、震災被害があったエリアや、災害に備えた学校などが掲載されており、県教育基本計画に沿った内容となっている。			
【観点2】 世界の各州では、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図があり、地域の特色を視覚的にとらえられるようになっている。 世界各州、日本全地方が網羅され、全体として調和のとれた内容及び構成・配列となっている。 随所にQRコードが記載され、生徒がタブレットなどを用い主体的に学習できる工夫がなされている。 地理的分野のみならず歴史的分野や公民的分野での学習活動でも活用できる内容となっている。			
【観点3】 UDフォントを使用し、読みやすくなっている。 より多くの情報と、地域のつながりが表現されるようになっている。 カラーユニバーサルデザインが意識され、判別しやすくなっている。 A4判を活かして、広範囲の地域の特色をつかみやすくなしながらも、重さは従来程度に抑えることができている。			
以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校			数学
発行者番号	104	発行者略称	数研出版	
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 ICT機器を用いて授業できるようにコンテンツの量が豊富である。 QRコードなど、タブレット型PCと連携して授業できるように工夫されている。 タブレット型PCを利用するなどし、学びに向かう力の育成ができる内容となっているか、とくに自学自習に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>				
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 問題解決能力の力を工夫し、主体的・対話的に進めることができるように工夫されている。「探究ノート」には、ワークシートを用いて対話的な活動ができるようになっている。 思考力を高める問いかけが随所にみられる。「説明しよう」や「話し合おう」といった課題も見られ、3観点について偏りなく実現可能と思われる。また、教科書に登場するキャラクターの吹き出しによる会話が多く、理解を助ける働きをしている。問題解決するために、この対話が他人の考えを理解することにもつながるよう工夫されている。証明問題においては、見通し、考え方、解答例など生徒の考えを表してわかりやすい。 小中や中高のつながりがみられる内容が盛り込まれ、他教科とつながる課題がみられる。</p> <p>【観点2】 適切なタイミングで別冊の「探究ノート」とリンクしており、問題解決するプロセスの中で見方・考え方が高まるような工夫がされている。また、提示された例や課題の考え方として、「問いかけ」や「対話形式」での考え方が示され、数学的な活動へと導いている。「巻末チャレンジ編」ではさらに力をのばせるような問題が充実している。 特定の分野に偏ることなく調和がとれている。巻末の自己評価、学びあいの評価など工夫がされ、学びの振り返りができるようになっている。 コンテンツが各章ごとに分けられており選びやすい。また、量も164あり、豊富である。 コンテンツ内で演習問題にも取り組むことができるように工夫されていて、基礎基本問題、解答がQRコードで読み取って行うことができるため、個別学習や自宅学習にも対応できている。</p> <p>【観点3】 UDフォントで大きさも適切で読みやすい。 各章の前に「ふりかえり」というページがあり、1年次の学習の復習ができるよう工夫されている。また巻末の学習内容のまとめも非常によくまとまっている。 刺激の少ない配色で青をベースとした色使いで見やすい。 別冊「探究ノート」があり、本冊とリンクして学びを深められる工夫がある。特に新たな課題に取り組む「探究」と身のまわりの課題を解決する「課題学習」は、学んだことをさらに深めることができる。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>				

選定理由書

種目	中学校		理科
発行者番号	61	発行者略称	啓林館
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 ICTを効果的に活用できる。 実験・観察に主体的に取り組めるよう工夫されている。 演習問題の内容が工夫されており、活用できる。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 課題が明確にされており、話し合う内容や考えるヒントが会話形式で紹介されているため、深い学びにつながる。 「環境マーク」が表示された箇所や、3年生の最終単元の「環境編」など、全学年に環境問題に関連する教材が扱われており、環境保全の意識が高まるように工夫されている。また、イラストや写真は、男女の比率や役割が偏らないように配慮されている。 「探Q実験」と単元に設定された「みんなで探Qクラブ」で、重点的に探究の学習過程に取り組むことで、科学的に探究する力が育つよう工夫されている。また巻頭の「ガイドンスペース」で、科学的に探究することの意義や、探求の進め方が示されており学びに向かう力の点で工夫されている。 どの学年、どの単元でも探QシートやQRコードを使用した学習が可能で、系統的に学ぶことができるよう工夫されている。また、数学など他の教科とのつながりも明記してある。 1年生では岩石や化石、地震などの範囲で、3年生では自然災害の範囲で兵庫県が取り上げられている。また、1年生の巻末では兵庫県の県鳥であるコウノトリについても掲載されており、ふるさと意識を醸成する上で有効である。</p> <p>【観点2】 写真では、身近な物を取り上げ生徒の興味を引くような構成になっており、考えを膨らませられるように配慮されている。 特定の内容に偏ることなく全体として調和がとれている。 各単元にQRコードがついている。単元の学習に入る前にはその単元に関する既習の内容がわかっているか確認できるドリル問題に取り組めるようになっていたり、単元の学習後はその単元で学習したことが定着しているか確認できるようになっている。また授業で実験しづらい実験動画もたくさん掲載され、非常に効果的であり、工夫がなされている。 実験の目的から振り返りまで、実験のスキル等はQRコードを使用すれば丁寧に説明された動画が見られ、わかりやすく説明されている。 章末に、学習のまとめとして用語の確認、充実した力ためし問題、さらにQRコードを使用すれば端末で復習ができるようになっており、学習の振り返りができるよう非常に工夫されている。</p> <p>【観点3】 文字の大きさは適度である。フォントも注釈やイラスト内の会話文などで変化があり、わかりやすい。 文字の大きさ、字間、行間は、読みやすさを考慮して設定されている。また、文字の大きさや書体などの軽重の付け方もタイトルや重要語句、学習課題など用途に応じてわかりやすく区別されている。 色覚特性への配慮としてイラストの色の組み合わせに工夫が施されている。また、ページの中央に本文が記載されており、その周りに写真やイラストが配置されているため、非常に見やすい。 A B判で広い仕様の教科書となっているが、写真やグラフ・表などを掲載する場所と文字を記載する場所が上手く分かれており、見やすくまた読みやすく工夫されている。 別冊は無いが、巻末に「探Qシート」がついており、より学びが深まる工夫がなされている。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	中学校		音楽(一般)
発行者番号	27	発行者略称	教育芸術社
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての関わりや理解が深められるような内容になっている。 我が国や郷土の伝統文化ならびに諸外国の文化の良さを感じるとともに、自国文化に愛着を持つことができるような内容になっている。 タブレット端末などのICT機器を利用することにより、生徒が他者と協働しながら主体的に活動できるような構成になっている。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 書き込み資料があり、着目ポイントがわかりやすいので、主体的に学習し、対話的学習へ導ける内容になっている。 鑑賞教材だけでなく、歌唱や合唱の単元にも、表現の方法や課題解決に向けて生徒たちが主体的・協働的に学習し、より良い音楽づくりを進めていけるような内容がつけられている。歌唱単元が道徳教育につながる内容になっており、解説や注釈も道徳教育の観点で充実した深いものになっている。巻頭見開きページの現在活躍する芸術家のメッセージが生徒の興味を惹き、豊かな心を育む内容となっている。 郷土民謡のページが見やすくまとまっている。学習したことが次につながるような工夫がなされている。また、道徳教育や人権教育と関連づけられている音楽や、英語やイタリア語の歌など、「言語教育」につながる音楽が多く取り入れられている。 震災復興に関わる曲や自分の町を大切に想う気持ちを歌った内容の曲が掲載されている。</p> <p>【観点2】 鑑賞単元の考察ポイント、掲載資料や補助楽譜、イラストなどが的確で、音楽的な見方・考え方ができるよう工夫されている。また、楽譜の補足説明やヒントから音楽的な見方・考え方を働かせることができる。 学習指導要領に示す内容がバランスよく構成されており、調和がとれている。また、それぞれの発達段階に即した難易度や配列になっている。 どの学年においても「生活や社会の中の音楽」という単元が盛り込まれ、日常生活における音楽の役割や、音楽文化について学ぶことができる内容になっている。文化に対する写真資料が多く、現代の文化においてもわかりやすく説明していて、愛着が持てる内容となっている。SDGsや音楽に関わる仕事についての説明など、興味をもって学習できる内容となっている。 日本の伝統文化について見やすい構成となっており、諸外国の文化とのバランスがよい。どの学年の教科書においても、我が国の伝統文化に触れる内容が多く掲載されている。</p> <p>【観点3】 楽譜や歌詞、説明文が見やすいフォントである。3番以上ある歌詞は、偶数行を濃くして見やすい工夫をしている。 歌唱作品の説明・解説が楽譜とセットになっており、見比べながら学習しやすくなっている。解説内容が充実している。 写真やイラストもわかりやすく、美しい。楽譜周りは色を使わずシンプルに、淡い色遣いで刺激が少ない。 必要な場所に必要な事が載っていて、授業で使いやすい。ねらいが黒の太字で書かれており、はっきりと見やすい。また、楽譜を持って歌うときに見やすい配置となっており、自然と楽譜に注目できるようになっている。 判型、頁数ともに生徒にとって使いやすい。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	中学校			音楽(器楽)
発行者番号	27	発行者略称	教育芸術社	
調査研究観点				
<p>観点1 教科共通の観点</p> <p>観点項目</p> <p>(1)学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について</p> <p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。</p> <p>(2)県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について</p> <p>県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点</p> <p>観点項目</p> <p>(1)概要</p> <p>教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。</p> <p>(2)教科内容</p> <p>多様な生徒のニーズに応じた器楽活動(和楽器を含む)が可能な教材になっている。 生徒が様々な器楽表現を試しながら創意工夫し、奏法、身体の使い方などの技能を身に付けられる内容になっている。 タブレット端末などの情報機器で、2次元コードから楽器の仕組みや運指・演奏法などの情報を活用することにより、生徒の自主的・主体的な活動が深められる内容になっている。</p> <p>観点3 形式について</p> <p>観点項目</p> <p>(1)内観</p> <p>本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト</p> <p>(2)外観</p> <p>判型、頁数及び別冊の有無</p>				
選定理由				
<p>【観点1】</p> <p>それぞれの役割を自覚し、自分たちで主体的に協働しながら音楽をつくりあげるためのポイントがある。 巻頭見開きページのピアニストのメッセージは生徒が興味を持ちやすい。音楽に向かう姿勢や楽器に対する想いなどが、プロの演奏家たちから語られていて、生徒の心を育むためには大変重要で、奥深い価値がある。 「エーデルワイス」「フィンランディア」「六段」などの選曲が、歌唱单元ともつながっている。「誰も寝てはならぬ」はオペラの鑑賞にもつながる。また、様々な地域や国の音楽、西洋史などにも関連した選曲は、社会科にも通じる部分がある。また、歴史的背景を学びながら演奏できるリコーダー曲が選曲されている。 阪神・淡路大震災の復興を願ったコンサートについて掲載している。</p> <p>【観点2】</p> <p>楽器の持ち方や奏法などの説明や写真、イラストがわかりやすく、リコーダーの運指の示し方も音高通りになっているなど、音楽的な見方・考え方を働かせる工夫がなされている。また、巻末のリコーダーの運指表やギターコード表は大変見やすい。 練習曲の選曲のバランスが良い。 様々な打楽器の演奏法が写真を交えてわかりやすく記載されている。 様々な和楽器のことに加えて、カホンやジェンベ、ドラムなどの打楽器についての説明もあり、練習曲の多様性にも富んでいる。 QRコードがついており、教科書に出てきた演奏家について調べたり、その演奏を聴いたりして、主体的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>【観点3】</p> <p>音符や説明文が見やすくわかりやすいフォントである。適度な余白がありすっきりと見やすくまとまっている。 必要な箇所に必要な説明がわかりやすくなされている。また、リコーダーの運指が音高と同じように並んでいるのが、とても学びやすい。 淡い色使いで刺激が少なく見やすい。 伝統楽器の写真が大きく掲載されており、興味をもてる配置となっている。 判型、頁数ともに生徒にとって使いやすい。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>				

選定理由書

種目	中学校		美術
発行者番号	38	発行者略称	光村図書
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 ICT機器を使った授業に対応している。 鑑賞の授業に対応している。 作品制作の技術指導に対応している。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 生徒同士が意見交換をする場面が設定されており、対話的な学びが進めやすく、自分の考えを深めることができる。 資料が豊富にあり、生徒が触れられる作品量が多い。そのため創造性への刺激も強い。 「特別の教科 道徳」とのつながりとして、内容項目がページ下に明記されている。</p> <p>【観点2】 学習の資料が豊富に掲載されている。美術1は、絵や彫刻の領域と、デザインや工芸の領域で、身近なものを中心に幅広く題材を設定しており、表現中心の題材が多い。美術2・3は、絵や彫刻の領域で、自身の思いを形にしていける題材が中心となっている。また東洋と西洋のつながりや比較ができるように考えられている。デザインや工芸の領域では美術と社会との関わりについて題材としているものが多く、地域について考える題材も設定されている。 教科書のQRコードの横に解説があり、目的をもってQRコードを開くことができる。タブレットやパソコンを使い、教科書掲載以外の生徒作品例や補足資料、動画などを見られるようになっている。 鑑賞教材が国内外幅広く取り扱われている。トレーシングペーパーが綴じ込まれており、線や文字を書き込むことができる。紙質を変えた図版があり、鑑賞を深めることができる。 美術1では多くの技法がまとめて掲載されている。また、QRコードから技法の動画も多数見ることができ、学習を支える資料のページが実践的で充実している。</p> <p>【観点3】 テーマの文字は大きく、小さな文字にはUDフォントを使用して構成されているため、わかりやすい。 鑑賞の資料や解説が豊富である。表現項目にある『みんなの工夫』など、制作の過程を多く紹介し、巻末の学習を支える資料では、技法を数多く掲載している。生徒の制作に役立つ構成がされている。 『鑑賞』と『表現』が同時にできるレイアウトになっている。紙質が変えてあり、生徒の意欲を高める効果がある。 A4判であるため、持ち運びや収納しやすいサイズである。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	中学校		保健体育
発行者番号	2	発行者略称	東京書籍
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 知識や思考力を深めるためのデジタル教材との連携が図られている。 心身の健康や安全に関する現代的な諸課題と向き合うことで、自他の実生活に生かされるような内容となっている。 現代における感染症への基本的な知識が示され、感染症予防対策につながる内容となっている。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 単元ごとに「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」があり、主体的で深い学びになるような工夫があるため、活用しやすい。各章の「まとめの問題」は分かりやすく活用しやすい。 「心身の機能の発達と心の健康」の単元では、性の多様性についてもふれており、道徳心を育ませる内容としても有効である。 各単元において学習課題が明確に指定されており、3観点到深く取り組むことができる内容となっている。 生殖機能について図解やイラストがわかりやすく示されており、特に理科との教科横断的な取り組みが可能な内容となっている。また、小・中・高を通じた学習の系統性に配慮し、その章の学習に関連する小学校と高校の学習内容が明記されており、他教科の学習内容との関連が簡潔に示され、系統的かつ発展的な指導ができるように工夫されている。また、デジタル教材でも他教科での学習内容が見られるようになっている。 防災に関する内容では、兵庫県の事例を取り上げており、ふるさと意識を醸成するうえで有効である。</p> <p>【観点2】 「傷害の防止（自然災害・急急手当）」「健康な生活と疾病の予防（感染症）」といった教材では、社会情勢に合わせた見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができるような構成となっている。 すべての単元において、学習指導要領に示された内容の取扱いに照らし、分かりやすく説明され、全体として調和がとれている。 デジタル教材（動画資料）が多く、QRコードの一覧ページも教科書内に掲示されていて分かりやすい。また、動画で説明しているものが多く、生徒にとって、親しみやすく分かりやすいものになっている。 特に安全に関する内容が多角的な視点でまとめられている。 感染症の基本的な知識だけに偏ることなく、予防学習を中心とした内容が明確に示されている。また、絵や図で分かりやすくまとめられていて、飛沫感染と空気感染の違いなどがイメージしやすくなっている。</p> <p>【観点3】 文字の大きさや字体も的確である。UDフォントで読みやすい。 写真、図、表と文字のバランスがよく見やすい。また、資料ではより詳しく説明されており、誰に対しても分かりやすく工夫されており、特別に支援を要する生徒にとっても有効である。 刺激の少ない落ち着いた配色で、見やすい色合いとなっている。また、注釈や資料など本文と色が変わっていて見つけやすく、見やすい。カラーユニバーサルデザインに配慮してあり見やすい。また、学年別の保健編と体育編の区別がしやすい配色である。 適度な余白もあり、加えて書き込み欄が多くまとめやすさを感じる。人体（内臓・筋肉・骨）のレイアウトが見やすい。 単元ごとに「学習のまとめ」があり活用しやすい。キーワードの説明があり、丁寧である。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	中学校	技術・家庭(技術分野)	
発行者番号	2	発行者略称	東京書籍
調査研究観点			
観点1 教科共通の観点			
観点項目			
(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について			
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。			
(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について			
県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。			
観点2 教科固有の観点			
観点項目			
(1) 概要			
教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。			
(2) 教科内容			
生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、課題を解決する力を養う内容になっている。 伝統技術、現在・未来の技術について関連づけて理解できる内容になっている。 学習のまとめが、学習した内容を適切に評価でき、今後の活用につながる内容になっている。			
観点3 形式について			
観点項目			
(1) 内観			
本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト			
(2) 外観			
判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由			
【観点1】			
一連の学習過程の中に、主体的な調べ学習や他者と協働して検討する部分があり、まとめや発表の仕方などの学習方法が示されている。また、製品の工夫を読み取るようにする記述があり、製品の設計者などとの対話的な思考ができるようになっている。 教科書内でのつながりや、他教科とのつながりなどが明示されており、わかりやすい。 姫路城や神戸ビーフについて触れられている内容がある。			
【観点2】			
原理と法則、問題解決、技術の最適化に向けた課題発見など満遍なく学習できるようになっている。 技術の最適化を求めて、さらによりよいものにするためにページ下方に「技術の工夫」という資料が掲載されている。統合的な問題解決について、別章として項目立てて学習できるように工夫されている。また、教科書内に「Dマーク」が配置されており、関連するコンテンツを使用して学習を深めることができるようになっている。 エネルギー変換においてさまざまな発電方法を提示するとともに、エネルギーミックスについても触れられておりわかりやすい。また、技術の進歩を知り、未来への発展的な考え方を創造できる学習ができるように工夫されている。 学習のまとめが3つの観点ごとに示されておりわかりやすい。学習したことを振り返り、自己評価がしやすいようになっている。			
【観点3】			
フォントやサイズの種類があまり多くないため、統一感があり、とても見やすい。 他教科や関連資料先が明示されており、検索しやすい。技術の興味など、より発展的な考え方を各ページ下の「技術の工夫」欄を見ることで更に探究できるようになっている。また、イラストと写真の使い分けが適切に行われている。 全体的に背景色のほとんどが白になっており、文字がはっきりと見やすく、目に優しい色づき合いがなされている。マトリクス型2次元コードを各ページに配置せず、共通して「Dマーク」とすることで、ページ全体が見やすくなるようになっている。			
以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。			

選定理由書

種目	中学校			技術・家庭(家庭分野)
発行者番号	2	発行者略称	東京書籍	
調査研究観点				
<p>観点1 教科共通の観点</p> <p>観点項目</p> <p>(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。</p> <p>(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点</p> <p>観点項目</p> <p>(1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。</p> <p>(2) 教科内容 ICTを効果的に活用できる内容となっている。 生活の中から問題を見出し課題を設定、解決する力を育成できるように配慮されている。 学習評価を適切に行えるような工夫がされている。</p> <p>観点3 形式について</p> <p>観点項目</p> <p>(1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト</p> <p>(2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>				
選定理由				
<p>【観点1】</p> <p>「活動」や「思考ツール」等を活用し、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したり深い学びを実現できるような工夫がされている。 「生活の課題と実践」の単元では、問題解決のプロセスに沿った具体的な実践例が提示されており、理解しやすい。 技術・家庭科の他の単元とのつながりだけでなく、他教科や「特別の教科 道徳」、小学校とのつながりを確認することができるようなマークが統一されており、分かりやすい。 災害での対策の単元では、「中高生が被災時にできたこと」や防災意識についてのコラムが取り上げられており、地域を担う一員として、身近な問題として捉えられる工夫がされている。また、巻末付録として「防災・減災手帳」を活用して、阪神・淡路大震災や東日本大震災から学んだことをさらに深められる工夫がされている。</p> <p>【観点2】</p> <p>見方・考え方の例が説明書きとイラストで提示されており、学習内容や実生活との結び付きを感じられるような工夫がされている。 デジタルコンテンツ「Dマーク」を活用することで、動画やwebページ、シミュレーション、他教科へもリンクすることができ、視覚からも情報を受け取り、授業だけでなく、家庭でも充実した学びを実現させることができる。 ガイダンスに問題を解決する道筋の提示、また、問題解決のプロセスに沿った具体的な例が提示されており、生活の課題と実践に取り組むにあたって、学習した内容を無理なく実践できるように工夫がされている。 各節の冒頭に目標、各節末に自己評価、各編末には、「学習のまとめ」を活用し、大切な用語の確認や振り返り、また、復習ができるように工夫されている。</p> <p>【観点3】</p> <p>UDフォントで読みやすい大きさになっている。 食生活分野では、実物大の食品の写真(手ばかりや目ばかり)が提示されており、食品の概量を把握しやすい。 章や節、学習目標等の配置が統一されており、マークを使って分かりやすく整理されている。また、実習例が見開きで概観することができるよう工夫されている。 B5判よりも横幅が大きいAB判で、写真や図が見やすい。巻末付録の「防災・減災手帳」、は教科書から取り外して使用でき、知りたい情報にすぐ触れることができる。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>				

選定理由書

種目	中学校		英語
発行者番号	15	発行者略称	三省堂
<p>調査研究観点</p> <p>観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。</p> <p>(2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。</p> <p>観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。</p> <p>(2) 教科内容 (知識・技能) 語彙や文法事項の配列において、生徒が理解しやすく、小中又は中高の連携がスムーズになるよう工夫されている。 (思考力・判断力・表現力等) 4技能、5領域(聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり、発表)、書くこと)においての活動がバランス良く育成できるよう工夫されている。 (主体的、対話的な深い学び、学びに向かう力等) 学びが意欲、考える力に繋がる題材を取り上げている。ICTを用いて効果的な授業ができ、且つ生徒がQRコード等を活用し主体的に学べる工夫がされている。</p> <p>観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無</p>			
<p>選定理由</p> <p>【観点1】 CAN-DOリストの振り返りで深い学びにつながる、Notesによる解説で生徒の興味を引き、より深い学びにつながる。 題材が豊富である。付録の長文が豊かな心を育てる内容である。UseやProjectで使われている題材は生徒同士で意見交換をしながら考えをふかめられそうなものになっている。 Readの長文は考えさせる内容や生徒の興味ある内容をバランスよく取り上げ、主体的な学びの一助となる。巻頭の教科書の仕組みが知識・技能、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等をどのように育成するのがわかりやすい。 日本の伝統、国際理解、人権、環境等の題材で教科横断的に学習できる。 防災や職業体験などの題材など、ひょうご教育創造プランを踏まえた内容である。</p> <p>【観点2】 目標の一つである「コミュニケーション能力の育成」に対応できる内容であり、そのような資質や能力が身に付けられるような内容が選択されている。 2年生で現在完了を学習することになっているが、2年生で助動詞を扱っているため、助動詞としてのhaveを意識させるねらいがあると考えられ、生徒の抵抗感を軽減することができる。各学年調和のとれた内容である。 3年生で無理なく文法習得ができる。全体的に文法配列がわかりやすい。 reading、要約、文法導入、use、actionと考えられた配列で生徒にわかりやすく、バランスよく4技能が取り入れられている。Writingのテーマが楽しく、生徒の興味を引くものである。 QRコードはnew words、本文ともに音声、英語表記があり使いやすい。</p> <p>【観点3】 3年生までUDフォントが使われていて文字が見やすい、難しいnew wordsには日本語訳があり使いやすい。 前置詞のイメージがまとめてあり、理解が進む。付録についての単語、会話表現、ロールプレイングシートが充実している。また、巻末単語には発音記号があり、自学しやすい。 配色に統一性があり、わかりやすい。 全体的にすっきりしていて誰も見やすい、word bankがわかりやすい。</p> <p>以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。</p>			

選定理由書

種目	中学校		道徳
発行者番号	116	発行者略称	日本文教
調査研究観点 観点1 教科共通の観点 観点項目 (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた内容について 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容となっている。 教科を通じ豊かな心や創造性の涵養を実現できる内容となっている。 知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養の3観点について、偏りなく実現できる内容となっている。 系統的かつ教科横断的に学習することができる内容となっている。 (2) 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容について 県教育基本計画及び市町教育計画等地域の特性を踏まえた内容となっている。 観点2 教科固有の観点 観点項目 (1) 概要 教科目標にある見方・考え方を働かせ、資質・能力を育むことができる。 内容及び構成・配列について、学習指導要領に示す内容の取扱いに照らし、特定の事項、事象、分野に偏ることなく、全体として調和がとれている。 (2) 教科内容 生徒の多角的・批判的な思考力・判断力・表現力等の発達の観点等に十分配慮した創意工夫がなされている内容となっている。 道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方について自覚を深めるような教材が盛り込まれている。 QRコードを活用した学習の推進ができる内容となっている。 観点3 形式について 観点項目 (1) 内観 本文文字の字体や大きさ 資料の構成 配色 レイアウト (2) 外観 判型、頁数及び別冊の有無			
選定理由 【観点1】 「プラットフォーム」では、考えや視野を広げる補助質問教材が随所についており、学びを深めることができる。 「自分だけ余りになってしまう」など、中学生が共感できる教材や実生活に結び付く教材が多数掲載されている。 「学習の進め方」で教材に対しての話し合いの手立てが示されている。 特別活動と関連する教材が多くある。 トライやる・ウィークや防災教育などに関連づけて学習できる教材がある。 【観点2】 「いじめと向き合う」として3年間を通し、いじめを題材とした様々な教材を配置している。 「五月の風」では、同じ教材を2人の視点から描いており、多角的・多面的に考えられるように工夫されている。また、動作や演技を取り入れた教材が掲載されている。 多くの教材で中学生が主人公の設定となっており、身近な題材の中から道徳的価値について考えることができる工夫がある。 【観点3】 UDフォントを使用している。 教材の最初に筆者や登場人物が挿絵として用いられ、導入時の内容整理に効果的である。 見開いたページにおいて、文章に対して画像やイラストの比率が高い。読み手が文章のイメージを広げ、関心・意欲を引き出す工夫となっている。また、作者の写真を多く掲載しているところもよい。 「道徳ノート」がついており、生徒の考えを十分に記すことができ、本時の振り返りまで1冊で完結できる。 以上から、令和3年度使用教科用図書として選定する。			